

大阪府保育士会だより

平成16年4月1日

第66号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

ほほえみ

花いっぱい、喜びいっぱいの新学期を迎えたところです。慣れない環境に泣き出すことがあつたり、走りまわる姿も見られる様子は、保育士も同じ想いを持ちながらのスタートとなることでしょう。

保育士が専門職としての位置づけを得て、意気揚々と世の中の人々に役立つ喜びと誇りがもてる活躍を期待された、新しい年度の始まりでもあります。

保育士会として倫理綱領を持ち、目ざすべき方向性や、自らの行動規範を明らかにしたことの意義を、会員一人ひとりがしっかりと受けとめていただきたいと思うところです。子どもたちの最善の利益のために、また保育指針に基づく保育と教育の一体化への実践による子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会をつくることを確認しあつていかねばなりません。

保育士の役割は、子どもを育てる喜びを実感できる社会づくりに向けて、各々の園や地域で工夫した活動や取り組みをしていただくことが大切です。そのための自己研鑽、技術を身につけることが大きな課題となります。

大阪府保育士会
会長 武内 茂子

子どもの多くの声に耳を傾ける時、知らず知らず笑いをさせたり、目を細めることができます。思いがけない仕草、舌たらずの表現を耳にし、幸せいっぱいの保育士冥利を大ににするには、不安を抱えている人たちに安心をもたらすことができます。

そのためのソーシャルワーカー技術の研修をはじめ、園内研修をコーディネートで生きる主任の役割とチームワークをしっかりとれるリーダー

命は大事だよ

心臓マッサージ学ぶ

年に数回、地域のお母さん方を対象とした子育て講座を開催しています。1月30日には、泉北消防署の救急救命士を講師に「普通救命講習」を行いました。乳幼児の突然死などが問題となっている昨今、「救急車が到着するまでの数分の対応が生死を決める」との言葉を身の引き締まる思いで聞き、人工呼吸法や心臓マッサージの実技に汗をかいて取り組んでいました。

今後も講座を通して、地域のお母さん方と交流し、子育てについて共に考えていくたいと思います。

堺市 保育園平和の園

地域とともにふれあい大切に



岸和田市 山直南保育園



見守ってね地蔵さま

毎日小さな手を合わせ

子どもたちの成長を見守ってくれるお地蔵さま。朝夕子どもたちは手を合わせ、お祈りをする毎日です。



昨年の園舎新築の時、念願だった「野の地蔵さま」を園庭に建立しました。

夏まつりには、子どもたちの名前入り提灯をつり、野の地蔵さまをかこみ、卒園児をはじめ、地域のおじいちゃん、おばあちゃん方もお招きします。在園児とともに、みんなで輪なげなどの遊びコーナーで楽しみ、美味しいものに舌つづみをうち、岸和田音頭や地域なじみの踊りで、参加者みんながフリーバーしました。

専門職として 羽ばたくために

「保育士研修会」

保育士研修会は、12月5日、大阪社会福祉指導センターで行われ、11月に福岡県で開かれた、全国保育士研究大会の3つの分科会について伝達報告をいただきました。



はじめに、武内会長から「遠くまでおいでになれた皆さんとのための伝達研修であり、専門職とは、どういう責務があるのかを学んでいただきたい」とあいさつがあり、つづいて、全国保育士会永年勤続表彰者40人を代表し、なかよし保育園、山中淳子さんに感謝状が授与されました。

（報告1）第2分科会
遊びを通して
総合的に行う保育
報告者 星光保育園
望月まり子さん

同じ生活を持つ③異年齢グループでの活動編成をし、活動する。という3点を頭に入れて取り組んでほしい。▽研究2 遊びの中における葛藤の場面から子どもの心を見つめ支える。
(研究紀要P 46~60参照)

（コメント）発達とは、困難に出会った時、それを乗り越えていく力が養われる事である。子どもたちが本当に困っている時、葛藤している時こそ保育者の温かい支えが必要である。

午後の部、グループ討議後のコメントとして、自立を促す大人の役割とは、①子どもの欲求、感情を言

（研究紀要P 35~43参照）
▽研究1 異年齢交流活動のあり方について
（研究紀要P 35~43参照）

はじめに、武内会長から「遠くまでおいでになれた皆さんとのための伝達研修であり、専門職とは、どういう責務があるのかを学んでいただきたい」とあいさつがあり、つづいて、全国保育士会永年勤続表彰者40人を代表し、なかよし保育園、山中淳子さんに感謝状が授与されました。

（コメント）東京成徳短期大学、今井和子教授
保育というものは、意図的なものではなくてはならない。異年齢交流を考えるに

あたっては、①意図的に作る②異年齢の子ども同士が同じ生活を持つ③異年齢グループでの活動編成をし、活動する。という3点を頭に入れて取り組んでほしい。

（報告2）第3分科会
一人ひとりの特性を大切にする保育
報告者 玉串保育園
巽 順子さん

（コメント）今、大切にしたこと
(P 65~72参照)
「気になる子どもの姿」の背景に「生活リズムの乱れ」が影響しているのではない

（まとめ）
スーザン・バイザー
武内茂子保育士会会長
これから保育は、科学性を持つこと。そして、マニユアルを持つて、皆が正々堂々と向かっていく。世の中の皆さんに認められ、安心を与える保育士になるため専門職として勉強し、羽ばたくのです。専門職であることを示していきました。

（報告3）第5分科会
健康・安全に関する内容
報告者 浦堂保育園
矢野宗子さん

（コメント）小田原女子短期大学、増田まゆみ教授
今多発しているさまざまな思春期の問題や悲しい事件が起こらないように、命を大切にすること、自分をコントロールする力を一人ひとりの特性を生かして保育を実践することによって子もが身につけていく。保育園保育の中で大事にしていかなければならぬことだと思います。そして、保護者の育児機能が低下し、保育時間が長時間化している現在、保育園で生き生きと生活している状況を保護者に伝えていくことを大事にしているときそ保育者の温かい支えが必要である。

（研究2）健全な生活習慣
（P 126~137参照）
3歳で入園した男児（運動・偏食）を通じ、3歳児の基本的な食生活と生活習慣の必要性を研究するにあ

△研究2 親子の心に寄り添った援助のあり方
(P 74~82参照)
3歳で入所した男児が3年間の保育園生活を経て、親と共に変容していく様子をおきかえ知らせる。

△研究1 健やかな子どもたちの心身の発達をめざして
(P 113~124参照)
乳幼児の身体発達と情緒の安定した体づくりに最も大切な生活リズムを見直すために、家庭と保育園で生活実態調査を行い、研究・

△研究2 生活リズムについて、
「私たち生きものであることを忘れていないでしゃうか。太陽の光を受けながら地球の上に住んでいます。朝起きる、夜は眠る。昼間活動して夜は寝る。生きものの原理原則です。地球の自転に合わせて、いろいろなホルモンが出ますので生活リズムを正しく、子どもたちに身につけさせたいものです」と話されました。

△研究3 小児保健クリニック
巷野悟郎院長
「星とたんぽぽ」を紹介さる意識調査、食事アンケートにより考察されたことを見ようとする。☆見えないものをしなければ見えない。優しさをもつて、保育を大切にと結ばれました。

（コメント）子どもの城

質の高い保育を目指して

大阪で全国保育士研修会



自立心や共存力を失った若者が増えてる現代、幼い子どもたちの育ちゆく姿

国际会議場で第30回全国保育士研修会が開催されました。行政説明では次世代育成支援対策推進法についてや児童福祉法の一部改正の話がありました。武内全国保育士会会长からの基調報告では、保育士の国家資格化に伴い、これから保育士に求められるものや「全国保育士会倫理綱領」策定の意義、私たち保育士がより質を高めていくことが重要であることを話されました。

◆記念講演

「今あらためて考える家族のありようと家族への支援」

大阪人間科学大学
人間科学部教授

服部祥子 講師

1月19日～21日に大阪国際会議場で第30回全国保育士研修会が開催されました。行政説明では次世代育成支援対策推進法についてや児童福祉法の一部改正の話がありました。武内全国保育士会会长からの基調報告では、保育士の国家資格化に伴い、これから保育士に求められるものや「全国保育士会倫理綱領」策定の意義、私たち保育士がより質を高めていくことが重要であることを話されました。

1月19日～21日に大阪国際会議場で第30回全国保育士研修会が開催されました。行政説明では次世代育成支援対策推進法についてや児童福祉法の一部改正の話がありました。武内全国保育士会会长からの基調報告では、保育士の国家資格化に伴い、これから保育士に求められるものや「全国保育士会倫理綱領」策定の意義、私たち保育士がより質を高めていくことが重要であることを話されました。

◆Fコース

「保育所におけるリスクマネジメント」

田中哲郎 講師
国立保健医療科学院
生涯保健部長

「保育士さんはピアノはできる、工作はうまい、尊敬します。でも、全体的に保健、に関しては、弱いですね」。いきなりの厳しい指摘にドキッとした。その後も、楽しいお話の中に時々、ピリッとした言葉が飛び出し、もう一度しっかり考え直さなくては、と思いました。

「保育士さんはピアノはできる、工作はうまい、尊敬します。でも、全体的に保健、に関しては、弱いですね」。いきなりの厳しく分析していくと、少しずつ、なぜ起きたのかが見えてき、どんな小さな事故も、ふりかえりをすることが大切だと新たに学びました。

「保育士さんはピアノはできる、工作はうまい、尊敬します。でも、全体的に保健、に関しては、弱いですね」。いきなりの厳しく分析していくと、少しずつ、なぜ起きたのかが見えてき、どんな小さな事故も、ふりかえりをすることが大切だと新たに学びました。

「保育士さんはピアノはできる、工作はうまい、尊敬します。でも、全体的に保健、に関しては、弱いですね」。いきなりの厳しく分析していくと、少しずつ、なぜ起きたのかが見えてき、どんな小さな事故も、ふりかえりをすることが大切だと新たに学びました。

「保育士さんはピアノはできる、工作はうまい、尊敬します。でも、全体的に保健、に関しては、弱いですね」。いきなりの厳しく分析していくと、少しずつ、なぜ起きたのかが見えてき、どんな小さな事故も、ふりかえりをすることが大切だと新たに学びました。

16年度 事業計画とポイント

「保育士の国家資格化による向上」が求められている現在、研修の持ち方を検討

て、今まで以上に「専門性の向上」が求められている現在、研修の持ち方を検討

することができることで、技術があるのではないか

とを考えています。

保育所におけるリスクマネジメントとは、園児の事故防止、すなわち、事故を未然に防ぐこと、さらに事

（ハードウェア）施設・保育士としての意識・意欲を高め、励みとなればよ

守るなど、すべてに英知を注ぐべきです。そして家庭・家族を閉鎖から開放へと導く、子育てを支援していくしかありません。

4月22日 平成16年度総会
「保育の変革を踏まえた保育士の専門性」
講師・武内茂子会長
「ステキな音楽会」
講師・加藤ヒロユキさん
6月・7月・8月
保育士の専門性を高める研修会
→主任保育士、家族・地域への援助を中心とした連続研修会で、単位制

9月8日 保育士研修会
「遊びをとおして」
講師・舟井賀世さん
11月10・11・12日
全国保育研究大会
11月未定
保育士の専門性を高める研修会
→中堅保育士、
「中堅保育士の役割について」「ほめ方・しかり方」（しつけと虐待）
16年度事業計画（案）は4月の総会において決定いたします。

親子どじつしふびド・し・ミ

子育て支援の一環として親子教室、一時保育、イベントなどを開催しています。

親子教室では保護者の方と一緒に歌や製作、戸外遊びを行います。その中で季節の行事（運動会・クリスマス会）などを行い、親子で楽しめるよう取り組んでいます。またイベント開催では、育児支援の講演会や親子一緒に楽しめるように、ぬいぐるみシヨー、人形劇など、年によって内容は多少異なります。

今年は歌のお姉さんとぬいぐるみたちによる「心ボカボカコンサート」を行いました。子どもたちのよく知っている「アイアイ」や「虹の向こうに」など12曲を歌つていきました。お父さん、お母さんもマイクを向けら



子育て支援シリーズ⑩
八尾市 あけぼの保育園



いつしょにうたおうよ

れ、子どもたちと一緒に歌をうたつたり、立って体を動かしたり、手をたたいたり、最後には舞台へ上がつて参加するなどして、楽しいひとときを過ごしました。

普段一緒にいてもなかなか子どものことをじっと見つめる機会が少ないように思います。でも少しの時間かわいいおにぎりをもらったり、おもちゃをもらったり、おもむろに手を貸すなど、子どもたちもとても喜んでいます。

子どもと接する時間が少ないと感じます。でも少しの時間も子どもにとってもスキンシップをとるいい機会になつたと思います。

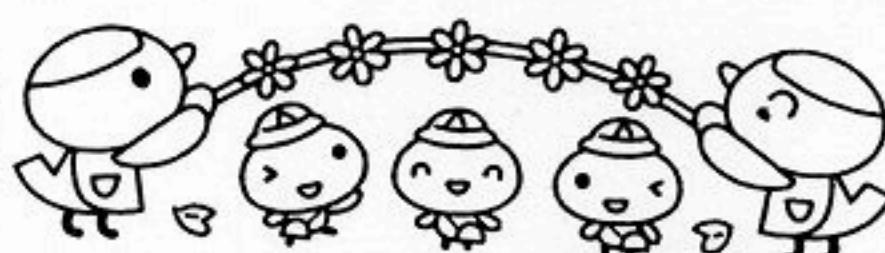
感じられました。

う内容。（写真）
子どもたちは話し合いま
す。今までに友だちをいじ
ません。

意識し、約束の大切さや自己責任について考え、また、想像の世界にいるはずの鬼を現実化することで、子どもの想像力やドキドキ感を高め、ひとつ物語として位置づけています。また、ぜつたに疑われることのないように万全の準備と演技に入っています。

このような体験は保育園ならではのものと思います。年長児が小さい子のクラスを思い、自分たちで解決しめたりしていないか、自分の悪いところ、弱いところはないか、ひとりひとりが考えて鬼に会うまでには直すことを約束しようと。

①大阪府保育士会手帳「ほ
ほえみ」が改訂されました。
倫理綱領が織りこまれ、表
紙の色も若草色に変わりま
した。



保育あんな工夫、こんな工夫 = 節分はコワイぞ =



交野山（344メートル）の麓に位置する園ならではの行事「節分」。鬼は常に山から見おろしている、園に悪い子はいないかと。節分前に偵察にやつてきます。年長児のいない間に、部屋を荒らし、手紙を置いていきます。古びた和紙のよ

編集後記

それを年長児が全クラスに配り、自分たちがみんなを守る気持ちで団結します。当日、自分たちで作ったお面や升を持ち、山から降りてきた完全に変身した三匹の鬼と戦います。年長児は約束することを鬼に聞い

みました。子どもたちのよく知っている「アイアイ」や「虹の向こうに」など12曲を歌つていきました。お父さん、お母さんもマイクを向けら

でした。お父さんやお母さんが子どもたちをぎゅっと抱きしめたり、お互いにじつと見つめあつたりして

いる姿は大変ほほえましくお母さんもマイクを向けら

うな紙に太く墨で書いた「オレは山の鬼だ。節分の日はみんなに会いにいく、まつておれ。鬼より」とい

う内容。（写真）
子どもたちは話し合いま
す。今までに友だちをいじ
ません。

意識し、約束の大切さや自己責任について考え、また、想像の世界にいるはずの鬼を現実化することで、子どもの想像力やドキドキ感を高め、ひとつ物語として位置づけています。また、ぜつたに疑われることのないように万全の準備と演技に入っています。

このような体験は保育園ならではのものと思います。年長児が小さい子のクラスを思い、自分たちで解決しめたりしていないか、自分の悪いところ、弱いところはないか、ひとりひとりが考えて鬼に会うまでには直すことを約束しようと。

そこで、部屋に入つてこられないよう、鬼が痛がる柊（ヒイラギ）を探します。

それを年長児が全クラスに配り、自分たちがみんなを守る気持ちで団結します。当日、自分たちで作ったお面や升を持ち、山から降りてきた完全に変身した三匹の鬼と戦います。年長児は約束することを鬼に聞い

みました。別れの春、出会いの春、うきうきする春です。

皆さまもかわいい子どもたちを迎えて、心新たに気をひきしめ一年の計画を立てた維持向上に努めなければなりません。保育士会は今年度もすばらしい研修を計画しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

